

科目名	政治経済Ⅱ				
科目名(英)	Politics and EconomicsⅡ				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	西直正・小原秀史
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科2年				
授業概要	公務員試験に出題される社会科学分野のうち「政治経済」について、1年次に学習した用語や知識を再確認する。また、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	目標 1年次に学習した政治や経済の用語や知識を踏まえ、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。				
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 社会科学 問題集編</li> <li>・実務教育出版 過去問350(警察官、市町村)</li> <li>・オリジナルレジュメ</li> </ul>				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	政治	総合演習①(海保特別の過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	2	経済	総合演習①(海保特別の過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	3	政治	総合演習②(海保特別の過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	4	経済	総合演習②(海保特別の過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	5	政治	総合演習③(警察官過去問350)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	6	経済	総合演習③(警察官過去問350)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	7	政治	総復習①(統治機構)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	8	経済	総復習①(市場、企業、物価)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	9	政治	総復習②(人権分野)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	10	経済	総復習②(金融、財政)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	11	政治	総復習③(政治学分野)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	12	経済	総復習③(国際経済)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	13	政治	総復習④(国際政治、政治史)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	14	経済	総復習④(経済史、経済指標)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	15	政治	総合演習④(刑務官の過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	16	経済	総合演習④(刑務官の過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	17	政治	総合演習⑤(刑務官の過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	18	経済	総合演習⑤(刑務官の過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	19	政治	総合演習⑥(海保入警の過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	20	経済	総合演習⑥(海保入警の過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	21	政治	総合演習⑦(海保入警の過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	22	経済	総合演習⑦(海保入警の過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	23	政治	総合演習⑧(国家一般の過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
24	経済	総合演習⑧(国家一般の過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	

	25	政治 総合演習⑨(国家一般の過去問)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	26	経済 総合演習⑨(国家一般の過去問)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	27	政治 総合演習⑩(市町村過去問350)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	28	経済 総合演習⑩(市町村過去問350)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	29	政治 総合演習⑪(全過去問から抜粋)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	30	経済 総合演習⑪(全過去問から抜粋)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
評価方法	定期試験を実施し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	日本史Ⅱ						
科目名(英)	Japanese HistoryⅡ						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	小原 秀史		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員試験に出題される人文科学分野のうち「日本史」について、1年次に学習した用語や知識を再確認する。また、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	○	○			1年次に学習した日本史の用語や知識を踏まえ、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。		
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 問題集編</li> <li>・実務教育出版 過去問350(地方初級、警察官)</li> <li>・オリジナルレジュメ</li> </ul>						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	日本史 総合演習①(海保特別過去問)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	日本史 総合演習②(海保特別過去問)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	日本史 総合演習③(警察官過去問350)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	日本史 総復習①(飛鳥～平安)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	日本史 総復習②(鎌倉～室町)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	日本史 総復習③(江戸)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	日本史 総復習④(明治～大正)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	日本史 総復習⑤(昭和～戦後史)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	日本史 総復習⑥(文化史)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	日本史 総復習⑦(分野別横断)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	日本史 総合演習④(刑務官過去問)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	日本史 総合演習⑤(海保入警過去問)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	日本史 総合演習⑥(国家一般過去問)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	日本史 総合演習⑦(地方初級過去問350)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	日本史 総合演習⑧(全過去問から抜粋)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
評価方法	定期試験を実施し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	世界史Ⅱ						
科目名(英)	World History II						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	津田 亮介		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員試験に出題される人文科学分野のうち「世界史」について、1年次に学習した知識を再確認する。また、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				1年次に学習した世界史の用語や知識を踏まえ、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 問題集編</li> <li>・実務教育出版 過去問350(地方初級、警察官)</li> <li>・オリジナルレジュメ</li> </ul>						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	世界史 総合演習①(海保特別過去問)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	世界史 総合演習②(海保特別過去問)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	世界史 総合演習③(警察官過去問350)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	世界史 総復習①(古代ローマ～中世・近代ヨーロッパ)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	世界史 総復習②(市民革命・ナポレオン帝政)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	世界史 総復習③(産業革命～世界大戦)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	世界史 総復習④(ロシア革命～戦後史)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	世界史 総復習⑤(中国史)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	世界史 総合演習④(刑務官過去問)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	世界史 総合演習⑤(海保入警過去問)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	世界史 総合演習⑥(国家一般過去問)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	世界史 総合演習⑦(市町村過去問350)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	世界史 総合演習⑧(全過去問から抜粋)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	世界史 総合演習⑨(全過去問から抜粋)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	世界史 総合演習⑩(全過去問から抜粋)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
評価方法	定期試験を実施し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	地理Ⅱ						
科目名(英)	GeographyⅡ						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	藤田 理		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員試験に出題される人文科学分野のうち「地理」について、1年次に学習した用語や知識を再確認する。また、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				1年次に学習した地理の用語や知識を踏まえ、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 問題集編</li> <li>・実務教育出版 過去問350(地方初級、警察官)</li> <li>・オリジナルレジュメ</li> </ul>						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	地理	総合演習①(海保特別過去問)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	2	地理	総合演習②(海保特別過去問)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	3	地理	総合演習③(警察官過去問350)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	4	地理	総復習①(気候・土壌)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	5	地理	総復習②(地形・地図)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	6	地理	総復習③(農牧業・生産量・輸出货量など)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	7	地理	総復習④(アジア～アフリカ)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	8	地理	総復習⑤(ヨーロッパ・アメリカ・オセアニア)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	9	地理	総合演習④(刑務官過去問)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	10	地理	総合演習⑤(海保入警過去問)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	11	地理	総合演習⑥(国家一般過去問)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	12	地理	総合演習⑦(市町村過去問350)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	13	地理	総合演習⑧(全過去問から抜粋)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	14	地理	総合演習⑨(全過去問から抜粋)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	15	地理	総合演習⑩(全過去問から抜粋)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
評価方法	定期試験を実施し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	理科Ⅱ				
科目名(英)	ScienceⅡ				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	松ヶ下剛士・馬淵和美
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科2年				
授業概要	公務員試験に出題される自然科学分野について、1年次に学習した知識を再確認する。また、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	目標				
	1年次に学習した自然科学の用語や知識を踏まえ、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。				
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 自然科学 問題集編</li> <li>・実務教育出版 過去問350(地方初級、警察官)</li> <li>・オリジナルレジュメ</li> </ul>				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	自然科学	総合演習①(海保特別過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	2	自然科学	総合演習②(海保特別過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	3	自然科学	総合演習③(海保特別過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	4	自然科学	総合演習④(海保特別過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	5	自然科学	総合演習⑤(警察官過去問350)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	6	自然科学	総合演習⑥(警察官過去問350)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	7	自然科学	総復習①(生物:生体～生殖)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	8	自然科学	総復習②(生物:遺伝～酵素)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	9	自然科学	総復習③(生物:異化同化～刺激)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	10	自然科学	総復習④(生物:恒常性～生態系)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	11	自然科学	総復習⑤(物理:力全般)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	12	自然科学	総復習⑥(物理:物体運動全般)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	13	自然科学	総復習⑦(物理:熱量～電気)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	14	自然科学	総復習⑧(物理:波動)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	15	自然科学	総復習⑨(地学:気象分野)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	16	自然科学	総復習⑩(地学:地球分野)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	17	自然科学	総復習⑪(地学:天体分野)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	18	自然科学	総復習⑫(化学:原子構造～イオン化傾向)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	19	自然科学	総復習⑬(化学:結合～気体)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	20	自然科学	総復習⑭(化学:反応式～酸化還元)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	21	自然科学	総復習⑮(化学:電気分解～炎色反応)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	22	自然科学	総復習⑯(化学:各法則～生活化学)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	23	自然科学	総合演習⑦(刑務官過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
24	自然科学	総合演習⑧(刑務官過去問)		授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	

	25	自然科学 総合演習⑨(海保入警過去問)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	26	自然科学 総合演習⑩(海保入警過去問)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	27	自然科学 総合演習⑪(国家一般過去問)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	28	自然科学 総合演習⑫(国家一般過去問)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	29	自然科学 総合演習⑬(全過去問から抜粋)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	30	自然科学 総合演習⑭(全過去問から抜粋)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
評価方法	定期試験を実施し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	文章理解(現代文)Ⅱ						
科目名(英)	Sentence Reading Comprehension (Modern Statement)Ⅱ						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	坪井 巨樹		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員試験に出題される分野のうち「現代文(古典も含む)」および「国語全般に関する知識(漢字・諺・慣用語・四字熟語など)」について、解法や出題傾向について学ぶ。また、前年度からさらに発展させ、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	○	○			公務員試験に出題される文章問題の種類(要旨把握、内容合致、文章整序、空欄補充)に応じた効率のよい解法を用いて、教科書に記載される例題問題を解くことができる。		
	○	○			日本文学史や口語文法(敬語も含む)、四字熟語(頻出問題)など国語分野の知識を身につけ、教科書に記載される例題問題を解くことができる。		
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 文章理解 テキスト編</li> <li>・実務教育出版 過去問350(警察官、地方初級)</li> </ul>						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	テキストP21、56、83 文学史(上代)、四字熟語				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	テキストP22～23、57、84 文学史(中古・和歌)、四字熟語				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	テキストP24～25、58、85 文学史(中古・物語)、四字熟語				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	テキストP26～27、71、86 文学史(中古・物語)、四字熟語				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	テキストP28、72、87 文学史(中古・日記、随筆)、四字熟語				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	テキストP29、73、88 文学史(中世・和歌)、四字熟語				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	テキストP42、74、89 文学史(中世・連歌)、四字熟語、口語文法助動詞(「れる」「られる」)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	テキストP43～45、75、76 文学史(中世・物語)、四字熟語、口語文法助動詞(「ようだ」「そうだ」)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	テキストP56～58、77 文学史(中世・説話)、四字熟語、口語文法助動詞(「だ」)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	過去問演習①(警察官350現代文その①) 文学史(近世・俳諧)、四字熟語、口語文法(形容詞と連体詞の違い)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	過去問演習②(警察官350現代文その②) 文学史(近世・物語)、四字熟語、口語文法(「ない」の識別)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	過去問演習③(警察官350現代文その③) 文学史(近世・浄瑠璃、国学)、四字熟語、口語文法(「らしい」識別)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	過去問演習④(地方初級350現代文その①) 文学史(近代)、四字熟語、口語文法(助詞「の」)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	過去問演習⑤(地方初級350現代文その②) 文学史(近代)、四字熟語、敬語(尊敬語)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	過去問演習⑥(地方初級350現代文その③) 文学史(近代)、四字熟語、敬語(謙讓語)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
評価方法	定期試験を実施し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	判断推理Ⅱ				
科目名(英)	Judgement ReasoningⅡ				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	三藤宏光・世永大一郎
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科2年				
授業概要	公務員試験に出題される数的処理分野のうち「判断推理」について、1年次に学習した解法を再確認する。また、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	目標				
	1年次に学習した判断推理の解法を踏まえ、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。				
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 判断推理 問題集編</li> <li>・実務教育出版 過去問350(警察官、地方初級)</li> <li>・オリジナルレジュメ</li> </ul>				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	判断推理 総復習①(論理～集合)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	2	判断推理 総復習②(うそつき)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	3	判断推理 総復習③(対応関係)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	4	判断推理 総復習④(試合)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	5	判断推理 総復習⑤(順序関係)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	6	判断推理 総復習⑥(道順)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	7	判断推理 総復習⑦(展開図)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	8	判断推理 総復習⑧(軌跡)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	9	判断推理 総復習⑨(平面図形)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	10	判断推理 総復習⑩(空間図形)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	11	判断推理 総合演習①(警察官過去問350の論理分野その1)			事前に問題を解いて授業に臨むとともに、授業終了後誤って解答した部分を見直すこと。
	12	判断推理 総合演習②(警察官過去問350の論理分野その2)			事前に問題を解いて授業に臨むとともに、授業終了後誤って解答した部分を見直すこと。
	13	判断推理 総合演習③(警察官過去問350の図形分野その1)			事前に問題を解いて授業に臨むとともに、授業終了後誤って解答した部分を見直すこと。
	14	判断推理 総合演習④(警察官過去問350の図形分野その2)			事前に問題を解いて授業に臨むとともに、授業終了後誤って解答した部分を見直すこと。
	15	判断推理 総合演習⑤(警察官過去問350その他その1)			事前に問題を解いて授業に臨むとともに、授業終了後誤って解答した部分を見直すこと。
	16	判断推理 総合演習⑥(警察官過去問350その他その2)			事前に問題を解いて授業に臨むとともに、授業終了後誤って解答した部分を見直すこと。
	17	判断推理 総合演習⑦(地方初級過去問350の論理分野その1)			事前に問題を解いて授業に臨むとともに、授業終了後誤って解答した部分を見直すこと。
	18	判断推理 総合演習⑧(地方初級過去問350の論理分野その2)			事前に問題を解いて授業に臨むとともに、授業終了後誤って解答した部分を見直すこと。
	19	判断推理 総合演習⑨(地方初級過去問350の論理分野その3)			事前に問題を解いて授業に臨むとともに、授業終了後誤って解答した部分を見直すこと。
	20	判断推理 総合演習⑩(地方初級過去問350の図形分野その1)			事前に問題を解いて授業に臨むとともに、授業終了後誤って解答した部分を見直すこと。
	21	判断推理 総合演習⑪(地方初級過去問350の図形分野その2)			事前に問題を解いて授業に臨むとともに、授業終了後誤って解答した部分を見直すこと。
	22	判断推理 総合演習⑫(地方初級過去問350の図形分野その3)			事前に問題を解いて授業に臨むとともに、授業終了後誤って解答した部分を見直すこと。
	23	判断推理 総合演習⑬(地方初級過去問350その他その1)			事前に問題を解いて授業に臨むとともに、授業終了後誤って解答した部分を見直すこと。
24	判断推理 総合演習⑭(地方初級過去問350その他その2)			事前に問題を解いて授業に臨むとともに、授業終了後誤って解答した部分を見直すこと。	

	25	判断推理 総合演習⑮(地方初級過去問350その他その3)	事前に問題を解いて授業に臨むとともに、授業終了後誤って解答した部分を見直すこと。				
	26	判断推理 総合演習⑯(国家一般・税務過去問)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	27	判断推理 総合演習⑰(国家一般・税務過去問)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	28	判断推理 総合演習⑱(国家一般・税務過去問)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	29	判断推理 総合演習⑲(全範囲)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	30	判断推理 総合演習⑳(全範囲)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
評価方法	定期試験を実施し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	数的推理Ⅱ					
科目名(英)	Numerical ReasoningⅡ					
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	世永 大一郎	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年					
授業概要	公務員試験に出題される数的処理分野のうち「数的推理」について、1年次に学習した解法を再確認する。また、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。					
授業形式	講義:	○	演習:	○	実習:	
				実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				1年次に学習した数的推理の解法を踏まえ、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈 問題集編</li> <li>・実務教育出版 過去問350(警察官、地方初級)</li> <li>・オリジナルレジュメ</li> </ul>					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	数的推理 総復習①(濃度～売買損益)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	2	数的推理 総復習②(連立方程式・不定方程式)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	3	数的推理 総復習③(旅人算・通過算)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	4	数的推理 総復習④(流水算その他速さ)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	5	数的推理 総復習⑤(仕事算～ニュートン算)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	6	数的推理 総復習⑥(比と割合～約数倍数)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	7	数的推理 総復習⑦(整数論～数列)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	8	数的推理 総復習⑧(場合の数～確率)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	9	数的推理 総復習⑨(平面図形)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	10	数的推理 総復習⑩(空間図形)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	11	数的推理 総合演習①(警察官過去問350の論理分野)				事前に問題を解いて授業に臨むとともに、授業終了後誤って解答した部分を見直すこと。
	12	数的推理 総合演習②(地方初級過去問350の論理分野)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	13	判断推理 総合演習③(国家一般・税務過去問)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	14	判断推理 総合演習④(国家一般・税務過去問)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
15	判断推理 総合演習⑤(全範囲)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
評価方法	定期試験を実施し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	○	◎			
						評価割合
						100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。					

科目名	作文試験対策Ⅱ						
科目名(英)	Writing Essay Countermeasure Ⅱ						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	佐藤 智子		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員試験には作文も含まれる為、過去に出題されたテーマで作文を書き練習する。また、文章は思ったことをただ書くだけでは良い点数に結び付かないので、分かりやすい文章を書く為に必要な「構成」「正しい語順」「書き言葉の紹介」など作文に必要な決まりごとを練習問題形式で紹介する。						
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:	○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				テーマ(過去問)に沿って作文を書き、添削された内容を確認し、次回の作文に活用できる。	
	○	○				分かりやすい文章の作り方を学び、読み手のことを考えた作文を書くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 文章理解 テキスト編 ・オリジナルレジュメ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	作文の基本的な注意点を紹介				配布したプリントは見直しをするように指示	
	2	段落分けについて、各段落の内容(大体のテーマで対応できるように)				配布したプリントは見直しをするように指示	
	3	模試作文(実務教育出版模擬試験第1回添付の作文)				模試作文は返却の際、添削、アドバイスが多くあるので必ず読み返すように指示	
	4	主語と述語の正しい使い方(書き方)				配布したプリントは見直しをするように指示	
	5	修飾語の正しい使い方(書き方)				配布したプリントは見直しをするように指示	
	6	話し言葉と書き言葉の違い				配布したプリントは見直しをするように指示	
	7	模試作文(実務教育出版模擬試験第2回添付の作文)				模試作文は返却の際、添削、アドバイスが多くあるので必ず読み返すように指示	
	8	模試作文				模試作文は返却の際、添削、アドバイスが多くあるので必ず読み返すように指示	
	9	一つの文に一つの内容でまとめる方法				配布したプリントは見直しをするように指示	
	10	自己PRに必要な事項(性格や頑張ったことなど)を質問形式に答える形でまとめる				授業時間中に完成しなかった場合は必ず空き時間を見つけて完成させ、本試験で活用できるように指示	
	11	句読点の正しい打ち方、接続詞の意味を紹介				配布したプリントは見直しをするように指示	
	12	模試作文(実務教育出版模擬試験第3回添付の作文)				模試作文は返却の際、添削、アドバイスが多くあるので必ず読み返すように指示	
	13	模試作文(実務教育出版公開模試添付の作文)				模試作文は返却の際、添削、アドバイスが多くあるので必ず読み返すように指示	
	14	過去問(職種に分かれたテーマを選択)				添削後返却するが、少しでも疑問があれば個人的にいつでも質問に来るように指示	
15	過去問(本試験問題の過去のテーマから抜粋)				添削後返却するが、少しでも疑問があれば個人的にいつでも質問に来るように指示		
評価方法	実務教育出版販売の模擬試験に添付される作文試験の点数評価を平均化し、下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表・作品	◎	◎				100%
履修上の注意							

科目名	知識科目演習Ⅱ					
科目名(英)	Knowledge Exercise II					
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	世永大一郎	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年					
授業概要	他の知識分野科目の授業で行われる科目(社会科学・人文科学・自然科学)について、発展的・実践的な解法を学ぶために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を中心的に行う。授業で補うことができなかった細かい知識の追加や、正答率の低い問題について分野別の復習を行い、知識の定着を図る。					
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:	
					実技:	
					※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	○	○		○	目標	
	○	○		○	各授業で学んだ用語や解法を記憶したうえで、教科書記載の例題問題を解くことができる。	
					過去に出題された公務員試験を解き、授業内で補うことができなかった細かい論点や知識を追加することで、国家公務員一般職など難易度の高い問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生公務員専門学校作成 知識科目演習(1~15回)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	知識演習1(オリジナル教材:知識科目演習第1回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	知識演習2(オリジナル教材:知識科目演習第2回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	知識演習3(オリジナル教材:知識科目演習第3回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	知識演習4(オリジナル教材:知識科目演習第4回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	知識演習5(オリジナル教材:知識科目演習第5回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	知識演習6(オリジナル教材:知識科目演習第6回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	知識演習7(オリジナル教材:知識科目演習第7回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	知識演習8(オリジナル教材:知識科目演習第8回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	知識演習9(オリジナル教材:知識科目演習第9回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	知識演習10(オリジナル教材:知識科目演習第10回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	知識演習11(オリジナル教材:知識科目演習第11回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	知識演習12(オリジナル教材:知識科目演習第12回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	知識演習13(オリジナル教材:知識科目演習第13回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	知識演習14(オリジナル教材:知識科目演習第14回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	知識演習15(オリジナル教材:知識科目演習第15回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および小テストの成績状況で評価する。 評価はR評価とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	小テスト	○	◎			
	出席状況				○	
履修上の注意						

科目名	知識・知能科目演習Ⅱ				
科目名(英)	Knowledge and Intelligence Exercise Ⅱ				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	三藤宏光・世永大一郎
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科2年				
授業概要	他の知能分野科目の授業で行われる科目(数的推理・判断推理・資料解釈)について、発展的・実践的な解法を学ぶために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を中心的に行う。授業で補うことができなかった細かい知識の追加や、正答率の低い問題について分野別の復習を行い、知識の定着を図る。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○		○	
	各授業で学んだ用語や解法を記憶したうえで、教科書記載の例題問題を解くことができる。				
	過去に出題された公務員試験を解き、授業内で補うことができなかった細かい論点や知識を追加することで、国家公務員一般職など難易度の高い問題を解くことができる。				
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻生公務員専門学校作成 知能科目演習(全20回)</li> <li>・麻生公務員専門学校作成 知識科目演習(16~20回)</li> <li>・オリジナルレジュメ</li> </ul>				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	知能演習1(オリジナル教材:知能科目演習第1回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	2	知能演習2(オリジナル教材:知能科目演習第2回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	3	知能演習3(オリジナル教材:知能科目演習第3回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	4	知能演習4(オリジナル教材:知能科目演習第4回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	5	知能演習5(オリジナル教材:知能科目演習第5回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	6	知能演習6(オリジナル教材:知能科目演習第6回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	7	知能演習7(オリジナル教材:知能科目演習第7回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	8	知能演習8(オリジナル教材:知能科目演習第8回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	9	知能演習9(オリジナル教材:知能科目演習第9回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	10	知能演習10(オリジナル教材:知能科目演習第10回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	11	知能演習11(オリジナル教材:知能科目演習第11回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	12	知能演習12(オリジナル教材:知能科目演習第12回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	13	知能演習13(オリジナル教材:知能科目演習第13回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	14	知能演習14(オリジナル教材:知能科目演習第14回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	15	知能演習15(オリジナル教材:知能科目演習第15回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	16	知識演習16(オリジナル教材:知識科目演習第16回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	17	知能演習16(オリジナル教材:知能科目演習第16回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	18	知識演習16(オリジナル教材:知識科目演習第17回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	19	知能演習17(オリジナル教材:知能科目演習第17回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	20	知識演習16(オリジナル教材:知識科目演習第18回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	21	知能演習18(オリジナル教材:知能科目演習第18回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	22	知識演習16(オリジナル教材:知識科目演習第19回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	23	知能演習19(オリジナル教材:知能科目演習第19回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
24	知識演習16(オリジナル教材:知識科目演習第20回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	

	25	知能演習20(オリジナル教材:知能科目演習第20回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	26	知識・知能演習①(全オリジナル教材から抜粋)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	27	知識・知能演習②(全オリジナル教材から抜粋)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	28	知識・知能演習③(全オリジナル教材から抜粋)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	29	知識・知能演習④(全オリジナル教材から抜粋)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	30	知識・知能演習⑤(全オリジナル教材から抜粋)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および小テストの成績状況で評価する。 評価はR評価とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○	◎				50%
	出席状況				○		50%
履修上の注意							

科目名	総合演習Ⅱ					
科目名(英)	Synthesis ExerciseⅡ					
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	各担任	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年					
授業概要	ウィネットが販売している模擬試験を用いて、本試験と同じ環境で試験を受験することで時間配分やマークシートの記入などの感覚を身につける。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○		○		時間配分について試行錯誤し、自身にあった回答順を探し出すことで、制限時間内に全ての問題を解き終えることができるようになる。
	○	○		○		毎回の試験結果をもとに自信の弱点科目を洗い出し、同科目を重点的に復習することで、目標とする公務員試験の合格点に達することができる。
テキスト・教材 参考図書	公務員講座 校内模擬試験(ウィネット)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	2	公務員講座 校内模擬試験第1回				
	3					
	4				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	5	公務員講座 校内模擬試験第2回				
	6					
	7				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	8	公務員講座 校内模擬試験第3回				
	9					
	10				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	11	公務員講座 校内模擬試験第4回				
	12					
	13				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	14	公務員講座 校内模擬試験第5回				
	15					
	16				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	17	公務員講座 校内模擬試験第6回				
	18					
	19				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	20	公務員講座 校内模擬試験第7回				
	21					
	22				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	23	公務員講座 校内模擬試験第8回				
24						

	25	公務員講座 校内模擬試験第9回	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと				
	26						
	27						
	28	公務員講座 校内模擬試験第10回	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと				
	29						
	30						
	31	公務員講座 校内模擬試験第11回	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと				
	32						
	33						
	34	公務員講座 校内模擬試験第12回	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと				
	35						
	36						
	37	公務員講座 校内模擬試験第13回	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと				
	38						
	39						
40	公務員講座 校内模擬試験第14回	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと					
41							
42							
43	公務員講座 校内模擬試験第15回	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと					
44							
45							
評価方法	株式会社ウィネットの出版している「校内模擬試験」の平均偏差値により評価する。 S(55以上)・A(50以上)・B(42以上)・C(30以上)・D(29以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	◎				100%
履修上の注意							

科目名	総合演習Ⅱ(外部模試)					
科目名(英)	Synthesis ExerciseⅡ(Outside Mock Examination)					
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	各担任	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年					
授業概要	実務教育出版の公務員模試(実戦編)と、公務員試験過去問を本試験と同じ環境で受験し、時間配分やマークシート記入などの間隔を身につける。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○		○		時間配分について試行錯誤し、自身にあった回答順を探し出すことで、制限時間内に全ての問題を解き終えることができるようになる。
	○	○		○		毎回の試験結果をもとに自身の弱点科目を洗い出し、同科目を重点的に復習することで、目標とする公務員試験の合格点に達することができる。
テキスト・教材 参考図書	高卒程度公務員模擬試験(実戦編) 各種公務員試験過去問					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	2	海上保安学校(特別)の過去問演習				
	3					
	4				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	5	海上保安学校(特別)の過去問演習				
	6					
	7				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	8	実務教育出版高卒程度公務員模擬試験(実戦編)第1回				
	9					
	10				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	11	刑務官の過去問演習				
	12					
	13				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	14	実務教育出版高卒程度公務員模擬試験(実戦編)第2回				
	15					
	16				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。	
	17	東京消防庁Ⅲ類の過去問演習				
	18					
	19				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。	
	20	東京都Ⅲ類の過去問演習				
	21					
	22				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。	
	23	実務教育出版高卒程度公務員模擬試験(実戦編)第3回				
24						

	25	特別区Ⅲ類の過去問演習	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。				
	26						
	27						
	28	東京消防庁Ⅲ類の過去問演習	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。				
	29						
	30						
	31	特別区Ⅲ類の過去問演習	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。				
	32						
	33						
	34	実務教育出版高卒程度公務員模擬試験(実戦編)第4回	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。				
	35						
	36						
	37	東京都Ⅲ類の過去問演習	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。				
	38						
	39						
	40	実務教育出版高卒程度公務員模擬試験(実戦編)第5回	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。				
41							
42							
43	特別区Ⅲ類の過去問演習	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。					
44							
45							
評価方法	株式会社実務教育出版の出版している「高卒程度公務員模試」の平均偏差値により評価する。 S(55以上)・A(50以上)・B(42以上)・C(30以上)・D(29以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	◎				100%
履修上の注意							

科目名	過去問題演習					
科目名(英)	Past Exam Collection Training					
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	各担任	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年					
授業概要	過去の公務員試験問題を用いて、本試験と同じ環境で試験を受験することで時間配分やマークシートの記入などの感覚を身につける。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○		○		時間配分について試行錯誤し、自身にあった回答順を探し出すことで、制限時間内に全ての問題を解き終えることができるようになる。
	○	○		○		毎回の試験結果をもとに自身の弱点科目を洗い出し、同科目を重点的に復習することで、目標とする公務員試験の合格点に達することができる。
テキスト・教材 参考図書	各種公務員試験過去問					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1					
	2	海上保安学校(特別)の過去問演習			誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	3					
	4					
	5	海上保安学校(特別)の過去問演習			誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	6					
	7					
	8	海上保安学校(特別)の過去問演習			誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	9					
	10					
	11	海上保安学校(特別)の過去問演習			誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	12					
	13					
	14	海上保安学校(特別)の過去問演習			誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	15					
	16					
	17	海保入警皇宮の過去問演習			誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	18					
	19					
	20	刑務官の過去問演習			誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	21					
	22					
	23	特別区の過去問演習			誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
24						

	25						
	26	裁判所職員の過去問演習				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	27						
	28						
	29	東京消防庁Ⅲ類の過去問演習				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	30						
	31						
	32	東京都Ⅲ類の過去問演習				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	33						
	34						
	35	裁判所職員の過去問演習				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	36						
	37						
	38	東京都Ⅲ類の過去問演習				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	39						
	40						
	41	東京消防庁Ⅲ類の過去問演習				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	42						
	43						
	44	東京都Ⅲ類の過去問演習				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと	
	45						
評価方法	公務員試験過去問演習の平均偏差値により評価する。 S(55以上)・A(50以上)・B(42以上)・C(30以上)・D(29以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	◎				100%
履修上の注意							

科目名	一般教養演習Ⅱ				
科目名(英)	General Education Exercise II				
単位数	5単位	時間数	75時間	担当者	各担任
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科2年				
授業概要	授業で実施しない科目(化学や思想、時事社会など)や授業の進んだ科目について、補講や追加レジュメを用いた演習を行うことで、プラス1点を目指した学習を行う。また、事務適性試験や前日までに実施された授業の復習などの時間にも充てる。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○		○	
	○	○			
	○	○		○	
目標					
授業で実施しない科目について補講や演習を行うことで、知識の定着を図り、該当分野の問題を解くことができるようになる。					
事務系職員を希望する生徒については、事務適性試験を反復して解くことで、処理速度をあげ、より多くの問題を解くことができるようになる。					
授業の復習を行い、当日中に疑問点を解消し、次回授業に問題なく進むことができる。					
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実務教育出版 適性試験ステップ25(実戦編)</li> <li>・オリジナル教材、公務員試験本試験過去問題</li> </ul>				
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	事務適性試験1(ステップ25基礎編第1回)、復習もしくは補講			
	2	事務適性試験2(ステップ25基礎編第2回)、復習もしくは補講			
	3	事務適性試験3(ステップ25基礎編第3回)、復習もしくは補講			
	4	事務適性試験4(ステップ25基礎編第4回)、復習もしくは補講			
	5	事務適性試験5(ステップ25基礎編第5回)、復習もしくは補講			
	6	事務適性試験6(ステップ25基礎編第6回)、復習もしくは補講			
	7	事務適性試験7(ステップ25基礎編第7回)、復習もしくは補講			
	8	事務適性試験8(ステップ25基礎編第8回)、復習もしくは補講			
	9	事務適性試験9(ステップ25基礎編第9回)、復習もしくは補講			
	10	事務適性試験10(ステップ25基礎編第10回)、復習もしくは補講			
	11	事務適性試験11(ステップ25基礎編第11回)、復習もしくは補講			
	12	事務適性試験12(ステップ25基礎編第12回)、復習もしくは補講			
	13	事務適性試験13(ステップ25基礎編第13回)、復習もしくは補講			
	14	事務適性試験14(ステップ25基礎編第14回)、復習もしくは補講			
	15	事務適性試験15(ステップ25基礎編第15回)、復習もしくは補講			
	16	事務適性試験16(ステップ25基礎編第16回)、復習もしくは補講			
	17	事務適性試験17(ステップ25基礎編第17回)、復習もしくは補講			
	18	事務適性試験18(ステップ25基礎編第18回)、復習もしくは補講			
	19	事務適性試験19(ステップ25基礎編第19回)、復習もしくは補講			
	20	事務適性試験20(ステップ25基礎編第20回)、復習もしくは補講			
	21	事務適性試験21(ステップ25基礎編第21回)、復習もしくは補講			
	22	事務適性試験22(ステップ25基礎編第22回)、復習もしくは補講			
	23	事務適性試験23(ステップ25基礎編第23回)、復習もしくは補講			
24	事務適性試験24(ステップ25基礎編第24回)、復習もしくは補講				

## 授業計画

25	事務適性試験25(ステップ25基礎編第25回)、復習もしくは補講	
26	事務適性試験26(ステップ25実戦編第1回)、復習もしくは補講	
27	事務適性試験27(ステップ25実戦編第2回)、復習もしくは補講	
28	事務適性試験28(ステップ25実戦編第3回)、復習もしくは補講	
29	事務適性試験29(ステップ25実戦編第4回)、復習もしくは補講	
30	事務適性試験30(ステップ25実戦編第5回)、復習もしくは補講	
31	事務適性試験31(ステップ25実戦編第6回)、復習もしくは補講	
32	事務適性試験32(ステップ25実戦編第7回)、復習もしくは補講	
33	事務適性試験33(ステップ25実戦編第8回)、復習もしくは補講	
34	事務適性試験34(ステップ25実戦編第9回)、復習もしくは補講	
35	事務適性試験35(ステップ25実戦編第10回)、復習もしくは補講	
36	事務適性試験36(ステップ25実戦編第11回)、復習もしくは補講	
37	事務適性試験37(ステップ25実戦編第12回)、復習もしくは補講	
38	事務適性試験38(ステップ25実戦編第13回)、復習もしくは補講	
39	事務適性試験39(ステップ25実戦編第14回)、復習もしくは補講	
40	事務適性試験40(ステップ25実戦編第15回)、復習もしくは補講	
41	事務適性試験41(ステップ25実戦編第16回)、復習もしくは補講	
42	事務適性試験42(ステップ25実戦編第17回)、復習もしくは補講	
43	事務適性試験43(ステップ25実戦編第18回)、復習もしくは補講	
44	事務適性試験44(ステップ25実戦編第19回)、復習もしくは補講	
45	事務適性試験45(ステップ25実戦編第20回)、復習もしくは補講	
46	事務適性試験46(ステップ25実戦編第21回)、復習もしくは補講	
47	事務適性試験47(ステップ25実戦編第22回)、復習もしくは補講	
48	事務適性試験48(ステップ25実戦編第23回)、復習もしくは補講	
49	事務適性試験49(ステップ25実戦編第24回)、復習もしくは補講	
50	事務適性試験50(ステップ25実戦編第25回)、復習もしくは補講	
51	事務適性試験51(国家一般・税務適性)、復習もしくは補講	
52	事務適性試験52(国家一般・税務適性)、復習もしくは補講	
53	事務適性試験53(国家一般・税務適性)、復習もしくは補講	
54	事務適性試験54(国家一般・税務適性)、復習もしくは補講	
55	事務適性試験55(国家一般・税務適性)、復習もしくは補講	
56	事務適性試験56(国家一般・税務適性)、復習もしくは補講	
57	事務適性試験57(国家一般・税務適性)、復習もしくは補講	
58	事務適性試験58(国家一般・税務適性)、復習もしくは補講	
59	事務適性試験59(2国家一般・税務適性)、復習もしくは補講	
60	事務適性試験60(国家一般・税務適性)、復習もしくは補講	
61	事務適性試験61(地方初級・市役所タイプ適性No.1)、復習もしくは補講	
62	事務適性試験62(地方初級・市役所タイプ適性No.2)、復習もしくは補講	
63	事務適性試験63(地方初級・市役所タイプ適性No.3)、復習もしくは補講	
64	事務適性試験64(地方初級・市役所タイプ適性No.4)、復習もしくは補講	
65	事務適性試験65(地方初級・市役所タイプ適性No.5)、復習もしくは補講	

	66	事務適性試験66(地方初級・市役所タイプ適性No.6)、復習もしくは補講					
	67	事務適性試験67(地方初級・市役所タイプ適性No.7)、復習もしくは補講					
	68	事務適性試験68(地方初級・市役所タイプ適性No.8)、復習もしくは補講					
	69	事務適性試験69(地方初級・市役所タイプ適性No.9)、復習もしくは補講					
	70	事務適性試験70(地方初級・市役所タイプ適性No.10)、復習もしくは補講					
	71	事務適性試験71(国家タイプ適性No.1)、復習もしくは補講					
	72	事務適性試験72(国家タイプ適性No.2)、復習もしくは補講					
	73	事務適性試験73(国家タイプ適性No.3)、復習もしくは補講					
	74	事務適性試験74(国家タイプ適性No.4)、復習もしくは補講					
	75	事務適性試験75(国家タイプ適性No.5)、復習もしくは補講					
評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および小テストの成績状況で評価する。評価はR評価とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○	◎				50%
	出席状況				○		50%
履修上の注意							

科目名	教養演習Ⅱ				
科目名(英)	Education ExerciseⅡ				
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	各担任
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科2年				
授業概要	過去の公務員試験問題を用いて、本試験と同じ環境で試験を受験することで時間配分やマークシートの記入などの感覚を身につける。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○		○	
	○	○		○	
					目標
					時間配分について試行錯誤し、自身にあった回答順を探し出すことで、制限時間内に全ての問題を解き終えることができるようになる。
					毎回の試験結果をもとに自身の弱点科目を洗い出し、同科目を重点的に復習することで、目標とする公務員試験の合格点に達することができる。
テキスト・教材 参考図書	高卒程度公務員模擬試験(実戦編) 各種公務員試験過去問				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。
	2	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内編) 第1回			
	3				
	4				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。
	5	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内編) 第2回			
	6				
	7				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。
	8	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内編) 第3回			
	9				
	10				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。
	11	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内編) 第4回			
	12				
	13				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。
	14	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内編) 第5回			
	15				
	16				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。
	17	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内編) 第6回			
	18				
	19				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。
	20	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内編) 第7回			
	21				
	22				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。
	23	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内編) 第8回			
24					

	25	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内編) 第9回	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。				
	26						
	27						
	28	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内編) 第10回	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。				
	29						
	30						
	31	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内編) 第11回	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。				
	32						
	33						
	34	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内編) 第12回	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。				
	35						
	36						
	37	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内編) 第13回	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。				
	38						
	39						
	40	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内編) 第14回	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。				
	41						
	42						
	43	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内編) 第15回	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、確実に復習を行うこと。				
	44						
45							
評価方法	公務員模擬試験の平均偏差値により評価する。 S(55以上)・A(50以上)・B(42以上)・C(30以上)・D(29以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	◎				100%
履修上の注意							

科目名	適性試験・一般教養対策Ⅱ				
科目名(英)	Qualification Test and General Education Countermeasure Ⅱ				
単位数	5単位	時間数	75時間	担当者	各担任
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科2年				
授業概要	事務適性試験を毎朝反復して練習し、処理速度をあげるとともに適性試験に慣れ、点数の向上を目指す。また、前日や前週までに実施された授業の確認テストを実施することで、授業内容の理解・定着の確認を行う。				
授業形式	講義：△	演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
					目標
					事務適性試験を反復して解くことで、処理速度をあげ、より多くの問題を解くことができるようになる。
					各科目の確認テスト(復習テスト)を行い、これまでの授業の理解度を確認する。また点数が取れなかった科目については再テストを受験し、知識を定着させ、同分野の問題を解けるようになる。
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実務教育出版 適性試験No.1～No.100</li> <li>・オリジナル教材(一問一答集、ASOドリル)</li> </ul>				
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	事務適性試験(第1回)および一般教養演習1(知識テスト第1回)			
	2	事務適性試験(第2回)および一般教養演習2			
	3	事務適性試験(第3回)および一般教養演習3(漢字テスト第1回)			
	4	事務適性試験(第4回)および一般教養演習4			
	5	事務適性試験(第5回)および一般教養演習5(知能テスト第1回)			
	6	事務適性試験(第6回)および一般教養演習6(知識テスト第2回)			
	7	事務適性試験(第7回)および一般教養演習7			
	8	事務適性試験(第8回)および一般教養演習8(漢字テスト第2回)			
	9	事務適性試験(第9回)および一般教養演習9			
	10	事務適性試験(第10回)および一般教養演習10(知能テスト第2回)			
	11	事務適性試験(第11回)および一般教養演習11(知識テスト第3回)			
	12	事務適性試験(第12回)および一般教養演習12			
	13	事務適性試験(第13回)および一般教養演習13(漢字テスト第3回)			
	14	事務適性試験(第14回)および一般教養演習14			
	15	事務適性試験(第15回)および一般教養演習15(知能テスト第3回)			
	16	事務適性試験(第16回)および一般教養演習16(知識テスト第4回)			
	17	事務適性試験(第17回)および一般教養演習17			
	18	事務適性試験(第18回)および一般教養演習18(漢字テスト第4回)			
	19	事務適性試験(第19回)および一般教養演習19			
	20	事務適性試験(第20回)および一般教養演習20(知能テスト第4回)			
	21	事務適性試験(第21回)および一般教養演習21(知識テスト第5回)			
	22	事務適性試験(第22回)および一般教養演習22			
	23	事務適性試験(第23回)および一般教養演習23(漢字テスト第5回)			
	24	事務適性試験(第24回)および一般教養演習24			

## 授業計画

25	事務適性試験(第25回)および一般教養演習25(知能テスト第5回)	
26	事務適性試験(第26回)および一般教養演習26(知識テスト第6回)	
27	事務適性試験(第27回)および一般教養演習27	
28	事務適性試験(第28回)および一般教養演習28(漢字テスト第6回)	
29	事務適性試験(第29回)および一般教養演習29	
30	事務適性試験(第30回)および一般教養演習30(知能テスト第6回)	
31	事務適性試験(第31回)および一般教養演習31(知識テスト第7回)	
32	事務適性試験(第32回)および一般教養演習32	
33	事務適性試験(第33回)および一般教養演習33(漢字テスト第7回)	
34	事務適性試験(第34回)および一般教養演習34	
35	事務適性試験(第35回)および一般教養演習35(知能テスト第7回)	
36	事務適性試験(第36回)および一般教養演習36(知識テスト第8回)	
37	事務適性試験(第37回)および一般教養演習37	
38	事務適性試験(第38回)および一般教養演習38(漢字テスト第8回)	
39	事務適性試験(第39回)および一般教養演習39	
40	事務適性試験(第40回)および一般教養演習40(知能テスト第8回)	
41	事務適性試験(第41回)および一般教養演習41(知識テスト第9回)	
42	事務適性試験(第42回)および一般教養演習42	
43	事務適性試験(第43回)および一般教養演習43(漢字テスト第9回)	
44	事務適性試験(第44回)および一般教養演習44	
45	事務適性試験(第45回)および一般教養演習45(知能テスト第9回)	
46	事務適性試験(第46回)および一般教養演習46(知識テスト第10回)	
47	事務適性試験(第47回)および一般教養演習47	
48	事務適性試験(第48回)および一般教養演習48(漢字テスト第10回)	
49	事務適性試験(第49回)および一般教養演習49	
50	事務適性試験(第50回)および一般教養演習50(知能テスト第10回)	
51	事務適性試験(第51回)および一般教養演習51(知識テスト第11回)	
52	事務適性試験(第52回)および一般教養演習52	
53	事務適性試験(第53回)および一般教養演習53(漢字テスト第11回)	
54	事務適性試験(第54回)および一般教養演習54	
55	事務適性試験(第55回)および一般教養演習55(知能テスト第11回)	
56	事務適性試験(第56回)および一般教養演習56(知識テスト第12回)	
57	事務適性試験(第57回)および一般教養演習57	
58	事務適性試験(第58回)および一般教養演習58(漢字テスト第12回)	
59	事務適性試験(第59回)および一般教養演習59	
60	事務適性試験(第60回)および一般教養演習60(知能テスト第12回)	
61	事務適性試験(第61回)および一般教養演習61(知識テスト第13回)	
62	事務適性試験(第62回)および一般教養演習62	
63	事務適性試験(第63回)および一般教養演習63(漢字テスト第13回)	
64	事務適性試験(第64回)および一般教養演習64	
65	事務適性試験(第65回)および一般教養演習65(知能テスト第13回)	

	66	事務適性試験(第66回)および一般教養演習66(知識テスト第14回)					
	67	事務適性試験(第67回)および一般教養演習67					
	68	事務適性試験(第68回)および一般教養演習68(漢字テスト第14回)					
	69	事務適性試験(第69回)および一般教養演習69					
	70	事務適性試験(第70回)および一般教養演習70(知能テスト第14回)					
	71	事務適性試験(第71回)および一般教養演習71(知識テスト第15回)					
	72	事務適性試験(第72回)および一般教養演習72					
	73	事務適性試験(第73回)および一般教養演習73(漢字テスト第15回)					
	74	事務適性試験(第74回)および一般教養演習74					
	75	事務適性試験(第75回)および一般教養演習75(知能テスト第15回)					
評価方法	毎日実施する小テスト(事務適性検査、漢字テスト、知識テスト、知能テスト)の平均点で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				100%
履修上の注意							

科目名	公務員リテラシーⅡ					
科目名(英)	Public Officer Literacy II					
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	各担任	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年					
授業概要	全体に対して公務員の職種紹介を行い、その後に各自で目指す公務員の業務内容をホームページやパンフレット等で調べることで、業界に関する知識・理解を深める。また二次試験対策として入退室のマナーや履歴書の書き方指導、コミュニケーションに関する指導を行う。					
授業形式	講義: △	演習: △	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○			○		自らが目指す公務員の業務内容を理解し、将来目標を設定して他者に適切に伝達することができる。
	○		○	○		面接試験にあたり、入退室や基本的な受け答えができる。
	○			○		自己分析を済ませ、履歴書を作成するにあたり大まかな方向性ができている。
テキスト・教材 参考図書	初級公務員試験データブック					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1					
	2	職種・試験制度紹介①(海上保安官、警察官)				
	3					
	4					
	5	二次試験対策①(過去エピソードの掘り起こし)				
	6					
	7					
	8	二次試験対策②(自己PR・長所・短所)				
	9					
	10					
	11	職種・試験制度紹介②(国家一般職・税務職員)				
	12					
	13					
	14	二次試験対策③(国家系面接カードの作成)			時間内に完成しない場合には、各自作業を行い提出すること	
	15					
	16					
	17	二次試験対策④(志望動機の作り方)				
	18					
	19					
	20	二次試験対策⑤(集団討論1)				
	21					
	22					
	23	二次試験対策⑥(集団討論2)				
24						

	25						
	26	職種・試験制度紹介③(地方公務員)					
	27						
	28						
	29	職種・試験制度紹介④(公安系職種)					
	30						
	31						
	32	二次試験対策⑧(面接に向けてのコミュニケーション実習1)					
	33						
	34						
	35	二次試験対策⑨(地方公務員型面接カードの作成)				時間内に完成しない場合には、各自作業を行い提出すること	
	36						
	37						
	38	二次試験対策⑩(面接に向けてのコミュニケーション実習2)					
	39						
	40						
	41	面接検定①					
	42						
	43						
	44	面接検定②					
	45						
<b>評価方法</b>	面接検定の評価に、授業内でのレポートなどの提出状況、出席状況を加え評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	面接検定			○	○		70%
	レポート・提出物	○			○		20%
	出席状況				○		10%
<b>履修上の注意</b>	受け身な姿勢ではなく、各々が自らの課題を見つけ、その克服に向けて積極的に取り組んでください。						

科目名	直前演習・模擬試験Ⅱ					
科目名(英)	Advanced Training and Test II					
単位数	13単位	時間数	195時間	担当者	各担任	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年					
授業概要	9月本試験を控え、各科目にて総合的な復習を実施し、知識の再確認を行う。また過去の本試験問題をくり返し解き、時間配分を見直したり多くの問題に触れたりすることで、多様な問題に対応できる能力を養う。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	◎				各科目で前期に学んだ知識の総合的な復習を行い、本試験で出題されるレベルの問題が解けるようになる。
	○	◎				模擬試験を繰り返して解くことで解法を身につけ、類似問題を解けるようになる。
テキスト・教材 参考図書	・公務員採用試験の過去問題(国家一般職、海上保安官、警視庁、刑務官、東京消防庁、東京都、特別区等) ・実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(実戦編・学内模試)					
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。	
	2	東京特別区 本試験				
	3	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施				
	4	政治演習1(国会・内閣)			誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。	
	5	経済演習1(需要供給、市場)				
	6	日本史演習1(飛鳥～平安初期)			誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。	
	7					
	8	東京都職員 本試験				
	9	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施				
	10				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。	
	11	東京消防庁Ⅲ類 本試験				
	12	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施				
	13				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。	
	14	裁判所職員 本試験				
	15	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施				
	16	世界史演習1(古代～中世ヨーロッパ)			誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。	
	17	地理演習1(気候・土壌)				
	18	自然科学演習1(生物:細胞、呼吸)			誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。	
	19					
	20	刑務官 本試験				
	21	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施				
	22				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。	
	23	海上保安官・入国警備官・皇宮護衛官 本試験				
	24	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施				

25		誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
26	東京消防庁Ⅲ類 本試験	
27	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	
28	政治演習2(裁判所・地方自治・憲法総論)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
29	経済演習2(会社、景気、金融)	
30	日本史演習2(平安中期～鎌倉幕府)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
31		
32	東京特別区 本試験	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
33	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	
34		
35	東京都職員 本試験	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
36	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	
37		
38	大阪府職員 本試験	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
39	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	
40		
41	世界史演習2(近代ヨーロッパ～市民革命)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
42	地理演習2(地形・地図)	
43	自然科学演習2(物理:加速度運動、エネルギー)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
44	裁判所職員 本試験	
45	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	
46		誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
47	東京特別区 本試験	
48	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	
49		誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
50	地域統一模試2020	
51	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	
52	政治演習3(人権総論・自由権)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
53	経済演習3(財政、経済指標)	
54	日本史演習3(室町幕府～織豊政権)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
55		
56	海上保安官・入国警備官・皇宮護衛官 本試験	
57	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
58		
59	海上保安官・入国警備官・皇宮護衛官 本試験	
60	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
61		
62	刑務官 本試験	
63	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
64	世界史演習3(ナポレオン帝政～産業革命)	
65	地理演習3(各種産業)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似

授業計画	66	自然科学演習3(地学:大気・気象)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
	67		誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
	68	海上保安官・入国警備官・皇宮護衛官 本試験	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
	69	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	問題を解いておくこと。
	70		
	71	刑務官 本試験	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
	72	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	問題を解いておくこと。
	73		
	74	海上保安官・入国警備官・皇宮護衛官 本試験	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
	75	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	問題を解いておくこと。
	76	政治演習4(社会権・新しい人権など)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
	77	経済演習4(為替、経済学者)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
	78	日本史演習4(江戸初期～中期の政治や経済)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
	79		
	80	刑務官 本試験	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
	81	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	問題を解いておくこと。
	82		
	83	海上保安官・入国警備官・皇宮護衛官 本試験	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
	84	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	問題を解いておくこと。
	85		
	86	国家一般職・税務職員 本試験	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
	87	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	問題を解いておくこと。
	88	世界史演習4(大戦期)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
	89	地理演習4(アジア)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
	90	自然科学演習4(生物・酵素、光合成)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
	91		
92	国家一般職・税務職員 本試験	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似	
93	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	問題を解いておくこと。	
94			
95	国家一般職・税務職員 本試験	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似	
96	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	問題を解いておくこと。	
97			
98	国家一般職・税務職員 本試験	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似	
99	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	問題を解いておくこと。	
100	政治演習5(外国の政治制度・選挙制度)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似	
101	経済演習5(経済史)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似	
102	日本史演習5(江戸末期の政治～明治初期の諸制度)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似	
103			
104	国家一般職・税務職員 本試験	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似	
105	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	問題を解いておくこと。	
106			
			誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似

107	国家一般職・税務職員 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	問題を解いておくこと。
108		
109		誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
110	国家一般職・税務職員 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	
111		
112	世界史演習5(戦後史)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
113	地理演習5(アフリカ・ヨーロッパ)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
114	自然科学演習5(力学、熱)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
115		誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
116	国家一般職・税務職員 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	
117		
118		誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
119	東京特別区 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	
120		
121		誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
122	東京消防庁Ⅲ類 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	
123		
124	政治演習6(国際政治・政治学者)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
125	経済演習6(社会保障その他)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
126	日本史演習6(日清戦争・日露戦争・第一次世界大戦)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
127		誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
128	東京都職員 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	
129		
130		誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
131	東京特別区 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	
132		
133		誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
134	東京消防庁Ⅲ類 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	
135		
136	世界史演習6(中国史)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
137	地理演習6(ロシア・アメリカ)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
138	自然科学演習6(地学:地震・地球の内部構造、岩石等)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
139		誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
140	東京都職員 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	
141		
142		誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
143	東京特別区 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	
144		
145		誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
146	東京消防庁Ⅲ類 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	
147		

148	政治演習7(政治史その他)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
149	経済演習7(時事問題)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
150	日本史演習7(大正～昭和初期:第二次世界大戦まで)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
151	東京都職員 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
152		
153		
154	東京特別区 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
155		
156		
157	東京消防庁Ⅲ類 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
158		
159		
160	世界史演習7(イスラム史その他)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
161	地理演習7(人口その他)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
162	自然科学演習7(生物:人体、遺伝)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
163	東京都職員 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
164		
165		
166	東京特別区 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
167		
168		
169	刑務官 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
170		
171		
172	政治演習8(国家一般職の過去問および類似問題)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
173	経済演習8(国家系公務員試験の過去問題演習)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
174	日本史演習8(戦後史)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
175	刑務官 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
176		
177		
178	刑務官 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
179		
180		
181	刑務官 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
182		
183		
184	世界史演習8(国家公務員試験の過去問題を中心)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
185	地理演習8(国家公務員の過去問題)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
186	自然科学演習8(電気、波動)	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似
187	海上保安官・入国警備官・皇宮護衛官 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
188		

	189						
	190	地域統一模試 ④ 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。				
	191						
	192						
	193	地域統一模試⑥ 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。				
	194						
195							
評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および模擬試験の成績状況で評価する。 評価はR評価とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	◎				50%
	出席状況				○		50%
履修上の注意							